

様式 A-1
(FY2018)

平成 31 年 3 月 29 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 県立開邦高等学校 学術理科主任 佐和田 千香子
2. 講師氏名: Angelo POLISENO
3. 講義補助者氏名: 濱本 耕平
4. 実施日時: 平成 31 年 3 月 19 日 (火) 13 : 55 ~ 15 : 20
5. 参加生徒: 1 年生 103 人、 2 年生 120 人、 (合計 203 人)
備考: 1 年生は学術探究科で次年度理系の生徒、2 年生は学術理科
6. 講義題目: [Diversity, speciation and adaptation of zoantharians]
7. 講義概要: イタリアに生まれ、南アメリ等各国を移動しつつ、学位や研究を続けたこと。
地中海やインド洋沖縄近海の気候変動や人的環境の影響により、イソギンチャクや
珊瑚の DNA に変化が起き、種の分化が生じていると考えて、逆にゲノミクスから環境要因
を考察している。
8. 講義形式:
 - 1) 講義時間 50 分 質疑応答時間 30 分
 - 2) 講義方法
プロジェクター使用による講義
 - 3) 事前学習
 ・ 無 (どちらかに○をしてください。)
使用教材 2 年生には、講師に事前に準備してもらった研究内容の概要(英文)と、ボキャ
ブラリーシートを配布して学習しておくように指示、1 年生にはシートを使った生物教師による PP によ
る指導を1時間、ALT によるボキャブラリーの意味を英語でやりとりする授業を1時間行った。
9. その他特筆すべき事項:

1 年生は語学力が、2 年生は生物を履修していない生徒がおり、内容が難しかった、という意
見がいくつかあった。随行員は逐語訳はしないということであったが、何回か助け船を出してくれ
てなんとか終わらせることができた。しかし、生物も英語も堪能な生徒も少なからずおり、質疑も
途切れず応答することができた。しかし、機会があればまた受けたいという生徒の方が上回って
いる。